



NIPPON STEEL

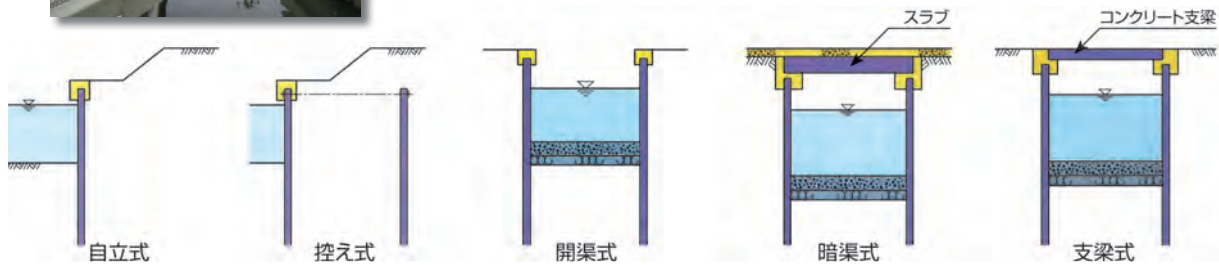
高強度コンクリート矢板

GEOSTR ジオスター株式会社

特徴



- ▶ 高強度コンクリート製の矢板です（コンクリート強度 60N/mm²）。
- ▶ 優れた耐久性を備え災害にも強さを発揮します。
- ▶ 防食や美観に優れ、経済性にも優れた製品です。
- ▶ 周辺構造物との調和や、経年の景観性・美観性に優れます。
- ▶ 使用する用途や設計条件により、色々な構造で対応できます。



- ▶ JIS A 5372 プレキャスト鉄筋コンクリート製品 I類製品
- ▶ 設計基準：災害復旧工事の設計要領（公益社団法人全国防災協会）
土地改良事業標準設計基準書「水路工」（農林水産省農村振興局） 他

規格

矢板標準部断面図
B



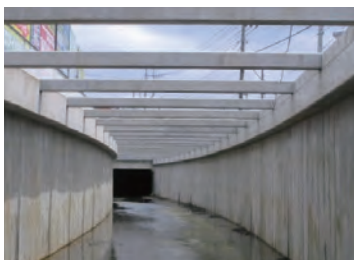
矢板頭部断面図
B



呼び名	寸法(mm)		抵抗曲げ モーメント (kN・m)	断面係数 $Z \times 10^6 (\text{mm}^3)$		断面二次 モーメント $I \times 10^8 (\text{mm}^4)$	厚み(mm)		参考質量 (kg/m)	製品長さ (m)
	H	B		Z_U	Z_L		フランジ部 t1	矢板頭部 t2		
KC 150B	150	996	28	2.68	-1.54	147	60	120	227	4.0~6.5
KC 175	175	996	35	3.61	-2.04	228			246	5.0~7.5
KC 200B	200	996	53	4.80	-2.77	351			296	6.0~9.0
KC 230	230	996	63	6.27	-3.57	523	75	125	319	6.5~9.5
KC 255B	255	996	100	8.14	-5.16	805			373	8.0~12.0
KC 275B	275	996	140	9.34	-5.92	997			391	9.0~13.0
KC 300	300	996	160	11.48	-7.35	1,344	100	150	463	10.0~14.0
KC 350	350	996	190	15.25	-9.69	2,073			509	10.0~14.0

用途

河川護岸、土留め、調整池護岸等



河川護岸



土留め



調整池護岸

施工方法

施工条件、作業環境等を考慮し、施工方法を選定します。

工 法		電動式バイプロハンマ +ジェット併用工法	油圧式バイプロハンマ +ジェット併用工法	圧入工法 (サイレントパイラー)	オーガ建込み工法 (SPACE工法)	建込み工法 (ミニウォール工法)
概 要		ジェットで地盤を穿孔し、 電動式バイプロハンマで 打込む	ジェットで地盤を穿孔し、 油圧式バイプロハンマで 打込む	コンクリート矢板専用サイ レントパイラーにて圧入 する	オーガで掘削、セメント系 硬化材を混合攪拌し、 矢板を建込む	チェーンソー型カッターで 掘削、セメント系硬化材を 混合攪拌し、矢板を建込む
打込み 可能 N値	砂質土	30以上でも可能 (礫、玉石が無い場合)	30以上でも可能 (礫、玉石が無い場合)	30以上でも可能 (礫、玉石が無い場合)	30以上でも可能	30以上でも可能
	粘性土	15程度以下	15程度以下	15程度以下	15以上でも可能	15以上でも可能
特 長		施工性が高い	振動・騒音が少ない	振動・騒音が極めて少ない	振動・騒音が極めて少ない	振動・騒音が極めて少ない 施工機はコンパクト
設 備		給水・排水設備が必要	給水・排水設備が必要	圧入機が小型 給水・排水設備が必要	掘削機と建込みクレーン の2台必要	掘削機と建込みクレーン の2台必要



電動式バイプロハンマ
+ ジェット併用工法



油圧式バイプロハンマ
+ ジェット併用工法



圧入工法
(サイレントパイラー)



オーガ建込み工法
(SPACE 工法)



建込み工法
(ミニウォール工法)

施工実績



開水路



農業用水路



河川護岸



調整池



道路土留め



ため池

製品お問合せ



ジオスター株式会社

<https://www.geostr.co.jp/>

営業本部

営業第1部 TEL. 03(5844)1208

北海道支店 TEL. 011(350)5150

大阪支店 TEL. 06(6210)2920

北陸営業所 TEL. 076(203)8099

仙台支店 TEL. 022(221)8631

九州支店 TEL. 092(441)0014

名古屋支店 TEL. 052(269)3680

沖縄営業所 TEL. 098(877)1230

〈ご注意とお願い〉 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。